

秋の叙勲・褒章

公共的なことに力を尽くした方などに贈られる平成22年秋の叙勲と褒章がこのほど発表されました。本市から受章した4人の方を紹介します。



八戸工業高等専門学校名誉教授

瑞宝小綬章 高山宗三さん

(柏崎・80歳)

八戸高専の助教授、教授を経て平成6年から名誉教授。教育・研究活動に力を注いだ。

家族や、共に研究してきた仲間たちに感謝します。授業では、基本的なことから丁寧に教えるようにしてきました。研究

活動では、他の論文を検証する「査読論文」を学会誌に発表できたことが誇りです。生徒と教師の波長と意欲が合ったときの教育効果は大きいものです。よりよい教育環境の広がりを願っています。



岩手県手をつなぐ育成会会長

旭日双光章 中野信男さん

(寺里・72歳)

平成14年から県手をつなぐ育成会会長を務めるなど、障がい者福祉の向上に力を尽くす。

50年の活動に目を向けてもらいました。仲間みんなでもらった章です。障がいの有無にかかわらず、人には皆、役割があり

ます。わたしは障がいがある息子から多くを教わりました。施設や制度が充実しても親が前向きでなければ、子どもは幸せでないと思います。思いが広がり、皆と一緒に暮らせる社会になってほしいです。



元市消防団本部副分団長

瑞宝単光章 玉澤市之進さん

(侍浜町・72歳)

昭和35年、市消防団第8分団入団後、本部副分団長を務めるなど、消防団活動に尽力。

家族の協力があり、長年、活動を続けることができました。受章もそのおかげです。昔は火災が多く、毎週のように出動

したことも。危険な現場や大変な災害もありましたが、自分たちがやらねばと、仲間を信頼して活動してきました。今は消防団員の確保も大変なようです。次を担う若い人たちに頑張ってもらいたい。



社会福祉施設等奉仕者

緑綬褒章 高谷淳子さん

(大川目町・66歳)

昭和55年に市内初のボランティアサークルを結成。障がい児支援や福祉活動に尽力。

助けてくれる仲間への代わりを受章した思いです。世話することでなく、役立つ喜びを感じ、支え合うのが「福祉」だと

思います。ふれあい広場(現・福祉まつり)に障がい児が参加してくれたときは本当に感動。皆が生かされればもっといい社会になると思います。今後も思いをつないでくれる人を広げていきたいです。



元市議会議員

高齡者叙勲 久慈 巖さん

(侍浜町・88歳)

昭和46年から市議12年、昭和58年から県議を4年務め、地方自治の振興に尽力。

地方自治への功労が認められ、元県・市議会議員の久慈巖さんが旭日双光章を受章。10月25日、岩手県議会から勲記と勲章が伝達されました。

久慈さんは「皆さんに感謝。印象深いのは、市議時代に久慈商工会議所の設立に向けて取り組んだことです。今も、街なかになにぎわいが戻ることを願っています」と、思いを語っていました。



北日本造船久慈工場の皆さん

北日本造船 ふるさと企業大賞 地域共生高評価

北日本造船(本社八戸市・東徹社長)は11月4日、財団法人地域総合整備財団が主催する、ふるさと企業大賞(総務大臣賞)を受賞しました。同賞は、同財団のふるさと融資を利用した民間事業者のうち、地域の活性化に積極的に取り組んでいる事業者に贈られるもの。本年度は全国で10事業者が受賞しました。同社は、夏井町に久慈工場(中野輝夫工場長)を立地し、平成18年5月

から稼働。工場を3度増設し、従業員も約230人に拡大するなど、地域の活性化に貢献してきました。また各種イベントへの協賛や清掃活動などを通して、地域との共生に取り組んでいることも、高評価のポイントになりました。二部和久総務部長は「今後地域振興の一翼を担い、地域とともに成長を続けたいです」と抱負を示していました。県内の受賞は今回で2例目。平成15年度には久慈琥珀(向正彰社長)が受賞しています。

全国表彰

米内 吉榮さん(右)

四百刈 房さん(左)

精力的な活動で受賞



大川目町・65歳。平成2年から自衛官募集相談員として自衛隊の充実に貢献



米内造園代表・55歳。平成14年から日本造園建設業協会の県支部長を務める

米内造園代表で、日本造園建設業協会県支部長の米内吉榮さんが、都市緑化功労者として国土交通大臣表彰を受賞。地域の緑化活動や、都市公園の整備推進に力を尽くしたことが高く評価されました。米内さんは「一身の引き締まる思い。家族や仲間の支えがあればこそです。誠心誠意尽くすのが仕事。何事にも手を抜かず、今後も頑張ります」と決意を新たにしています。自衛官募集相談員の四百刈房さんは防衛大臣感謝状を受賞。精力的な活動と自衛隊発展への貢献が認められました。四百刈さんは「声を掛け、入隊した生徒たちが頼もしくなった姿を見るとうれいいます。これからも頑張ります」と意欲をみせていました。



水質調査 大川目小に 知事感謝状

大川目小学校(高橋岩男校長・児童121人)は11月14日、水生生物による水質調査の実施団体として県知事感謝状を受賞。毎年5年生が取り組む久慈川の水質・水生生物調査が評価されました。



清掃活動 山根中に 親切実行章

山根中学校(中嶋敦校長・生徒6人)は11月2日、小さな親切運動県本部(高橋真裕岩手銀行頭取)から小さな親切実行章を受章。7月28日に行った長内川の清掃活動などが評価されました。



1日救急隊員 久慈高3人に 消防長感謝状

10月16・17日の消防フェアで1日救急隊員として活動した、久慈高校3年の広内亮くん、佐々木徹くん、久保泰平くん(写真左から)に、久慈消防本部(松野下富則消防長)から感謝状が贈られました。